

# 通知表の見方

保護者 様

平成 年 月 日

〇〇〇立〇〇小学校

## 通知表の見方について

### 1 各学期の学習状況は観点別に、各教科の欄にA・B・Cで表します。

通知表には身につけさせたい学力を具体的に文章で表し、1・2学期を各教科3～5観点で評価します。評価の考え方は、「絶対評価」です。「絶対評価」とは・・・目標に準拠した評価学習目標に到達していれば、「A」「B」や「3」「2」になります。

個人の進歩や向上を認める評価です。表記は、A・B・C欄に「O」で記入します。

A	各観点の内容を十分達成している。
B	各観点の内容をおおむね達成している。
C	もう少し努力を必要とする。

※ 判定の材料はテストだけではありません。多くの資料、作品、学習状況等の中から判定がされます。(資料・作品等の場合は、学年ごとに基準を設けています。)

### 2 評定(1・2・3)は教科の総合評価です。

(1・2年生は、評定はありません)

通知表に記載された観点項目を総合的に評価します。学年ごとに基準を設けて評価をしています。

表記は、評定の欄に「1」「2」「3」で記入します。

3	優れている。(教科の内容を十分達成している。)
2	よい。(教科の内容をおおむね達成している。)
1	努力を要する。

### 3 学校生活の状況(行動の記録)

各教科、道徳、特別活動、学校での生活など教育活動全般にわたって観察した児童の記録をもとに評価するものです。教師の観察記録、児童の自己評価等によって、趣旨に照らして十分満足できる状況であれば「O」がつきます。

### 4 総合的な学習の時間(3年生以上)

本校の総合的な学習は、各学年の発達段階に沿ったテーマを設定して取り組んでいます。どの取り組みも子どもたちが生きる力と学校教育目標と絡めて「やさしい心」「わくわく勉強」「たくましく運動」という児童像を培うことを目標としています。

数値的な評価は行わず、学習の成果、児童のよい点、進歩の状況などを踏まえ、身につきつつある資質・能力を文章で記述します。

### 5 特別活動の記録(1・2年生のみ)

学級の係の仕事、学校行事等における活動の様子を文章で記述します。

### 6 総合所見

児童一人一人の学習や生活状況の中から、個性を伸ばすために、児童のよさ、大きな成長などを認めた文章でお知らせします。また、3年生以上は特別活動(学級の係、クラブ、委員会、学校行事等)についても、特に顕著な活動を認め、文章で記述します。

### おわりに

通知表で表すことには限界があります。日々子どもたちは成長しています。その都度認め、励ましています。これからも子どもたちの日頃の取り組みや変化をしっかり見て、がんばりや成長はタイムリーにほめ、つまずきや課題に対しては家庭と連絡を取りながらよい方法を見つけていきたいと思っております。

子どもたちの成長を保護者の方とともに見つめ協力して、子どもたちが学校生活に喜びを感じ、自ら高め、意欲と自信あふれる子どもたちであってほしいと願っております。